

第31回全国医師会共同利用施設総会  
2025年8月30日

# 令和6・7年 全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会 活動報告

---

全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会  
会長 滝澤 貴昭  
(赤磐医師会会长)

# 連絡協議会

---

## 1会員施設数

○会員数 75施設

○賛助会員 6施設

(都道府県医師会)

(令和7年6月現在)

## 2.主な活動

○職員研修会

○施設紹介

○分科会

○情報交換会等

○アンケート調査

# 令和 6 年度

---

## テーマ「早期発見は検査から」

会期 令和 6 年 7 月 19 日～20 日

担当 中・四国地区

会場 タワーホール船堀（江戸川）

会場調整協力 江戸川区医師会

### 参加人数

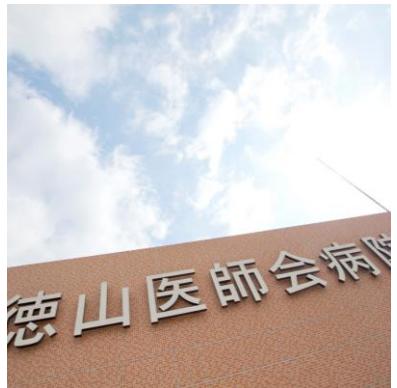
会場 83 名

Web 19 名



# 中・四国地区チーム

---



徳山医師会  
地域医療支援病院  
オープンシステム  
徳山医師会病院

山根 笑三生  
中村 郁子



岡山市医師会  
総合メディカル  
センター

小笠 博基  
熊崎 淳子



三次地区医師会  
臨床検査センター

金本 実  
森 美由紀



益田地区地域医療  
センター  
医師会病院

豊田 健治



福山市医師会  
健康支援センター

土井 貴博

# 講演

講演 I

## 地域医療構想の取り組みについて

前厚生労働省医政局地域医療計画課課長補佐 松本 千寿先生

講演 II

## 軽度認知障害の診断を目的とした質量分析法による 血漿蛋白質の同時多項目測定

オープンシステム徳山医師会病院院長 中村 和行先生

特別講演

## これからの医療と医師会共同利用施設

公益社団法人 日本医師会会长 松本 吉郎先生

# 分科会 「早期発見は検査から」

---

- 1 検査関連：臨床へのアプローチ  
新規項目の導入、勉強会、追加検査のアプローチ
- 2 健診関連：受診率の向上  
Web予約システム、システム部門、PHR
- 3 人事・管理関連：経営状況と組織管理  
経営改善、労務管理、人材育成

# 共同利用施設からの発信 ～新しい企画の紹介～

---

1. iPadを用いたオーダリングの紹介

江戸川区医師会医療センター 山崎 貴之先生

2. 受診率向上に向けた取り組み

東松山医師会病院健診センター 北堀 浩也先生

3. 医科歯科連携による歯周病検診の試み

西宮市医師会診療所 横井 敏孝先生

# 令和7年度

---

テーマ「サステイナビリティ  
持続可能性」

会期 令和7年7月11日～12日

担当 近畿地区

会場 姫路商工会議所

参加人数

会場 87名

Web 25名



# 近畿地区チーム

---



姫路市医師会

藤田 祐介

佐古井 久子

上野 敦士



奈良市総合医療検査センター

春田 貴

嶋崎 昌浩

堀江 真規



西宮市医師会診療所

橋本みちよ

横井 敏孝

高松 あづさ

丸岡 康子

# 総会・講演会会場の様子

( webによるハイブリッド参加あり)



# 講演

## 講演Ⅰ

### 共同利用施設を含む医療施設の災害医療施策について

厚生労働省医政局地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室 新興感染症等医療対策室室長 近藤 祐史先生

## 講演Ⅱ

### 我々がMASLD/MASHの予防・改善のためにできること

天理よろづ相談所病院嘱託医師 西宮市医師会診療所顧問 松尾 収二先生

## 特別講演

### 地域医療における共同利用施設の役割～災害時の対応や支援～

公益社団法人 日本医師会会长 松本 吉郎先生

# 分科会

## 「面白い事への挑戦」

---

1 検査関連：①共同利用施設間での共有できること

②新規獲得

③集配体制

2 健診関連：①行政の仕事

②新規獲得

③PHR

3 人事・管理関連：①経営改善のためのチーム作り

②人材確保施策

③人材育成

# 分科会の様子

---



# 分科会1 検査関連のまとめ

---

## a 共同利用施設間で共有できること

- ①容器の有償化状況
- ②機器のメンテナンス費用

## b 利用施設の新規獲得

- ①共同利用施設の良いところをアピール

## c 集配体制

- 正社員の割合、シフトの決め方
- 人件費・ガソリン代高騰への対応

# 分科会2 健診関連のまとめ

---

## a 行政の仕事

- ①入札案件
- ②特定保健指導

## b 健診の新規獲得

- ①オプション検査の導入
- ②外国人向け、富裕層向け健診

## C PHR (地域連携、受診者への結果報告方法)

# 分科会3 人事・管理のまとめ

---

## a 経営改善のためのチーム作り

- ①リーダーの選任
- ②委員会・会合
- その他、利用数に応じたポイント還元・懸賞

## b 人材確保のためにはどのような工夫をしているか

- ①働きやすい職場作り
- ②給料、休み、正社員の割合

## c 人材育成

- 現場任せか医師会全体か、講習

# **共同利用施設からの発信 ～新しい企画の紹介～**

---

## **1. 共同利用施設で共有できるシステムの開発について**

**広島市医師会臨床検査センター 藤本 誠先生**

## **2. 電力ル連携におけるPDF連携ソフト（ビューワ）の開発について**

**姫路市医師会 内川 太郎先生**

## **3. 利用したい・働きたいと思える臨床検査センターを目指して**

**三次地区医師会臨床検査センター 金本 実先生**

# 電子カルテに関する医療情報システムの現状

---

## 1. 標準型電子カルテ関連の現状について

日本医師会ORCA管理機構株式会社 石田 英明先生

## 2. 臨床検査基盤を活用した医療DXへの対応

株式会社ケーアイエス 高味 裕介先生

# 共同利用施設における医療情報システムの 共同利用開発の現状

## ★アンケート報告

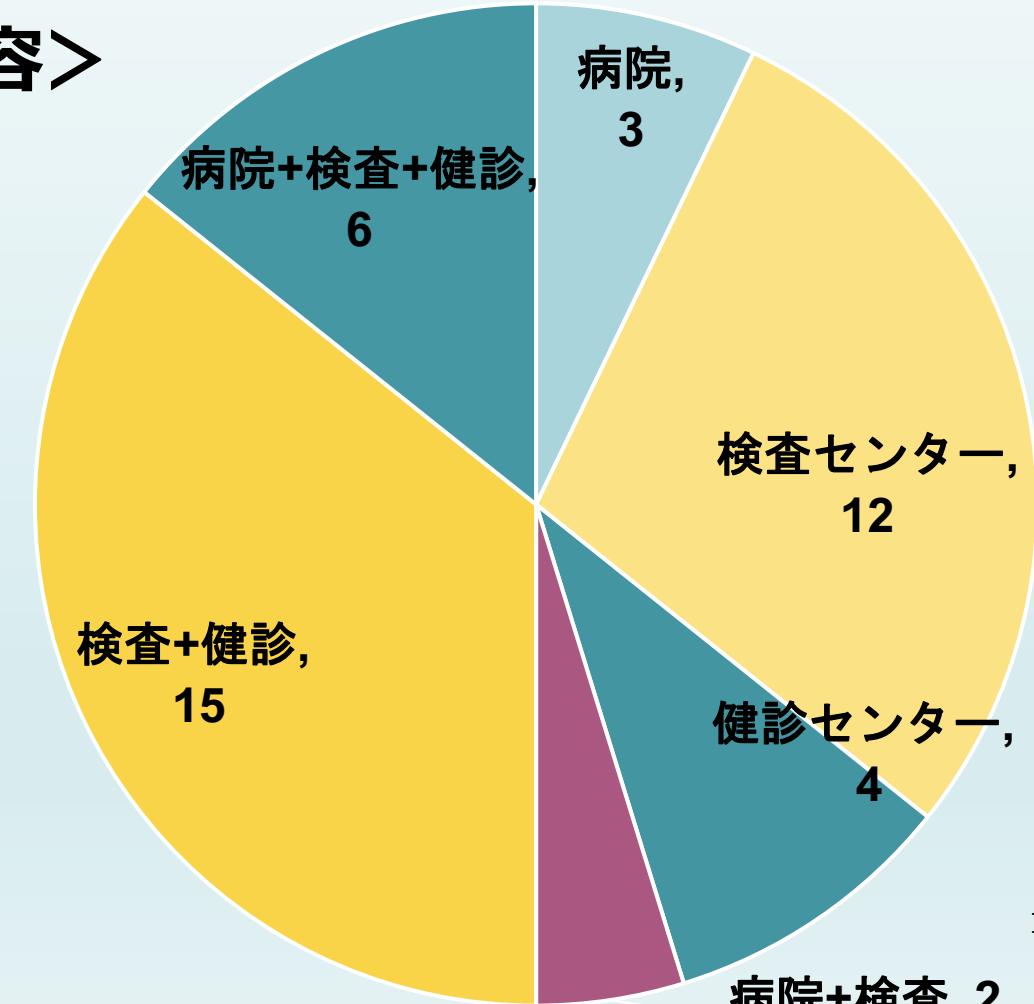
<事業内容>

姫路市医師会 藤田 祐介先生

アンケート期間：R7.4.40～6.14

回答施設数：42施設（50%）

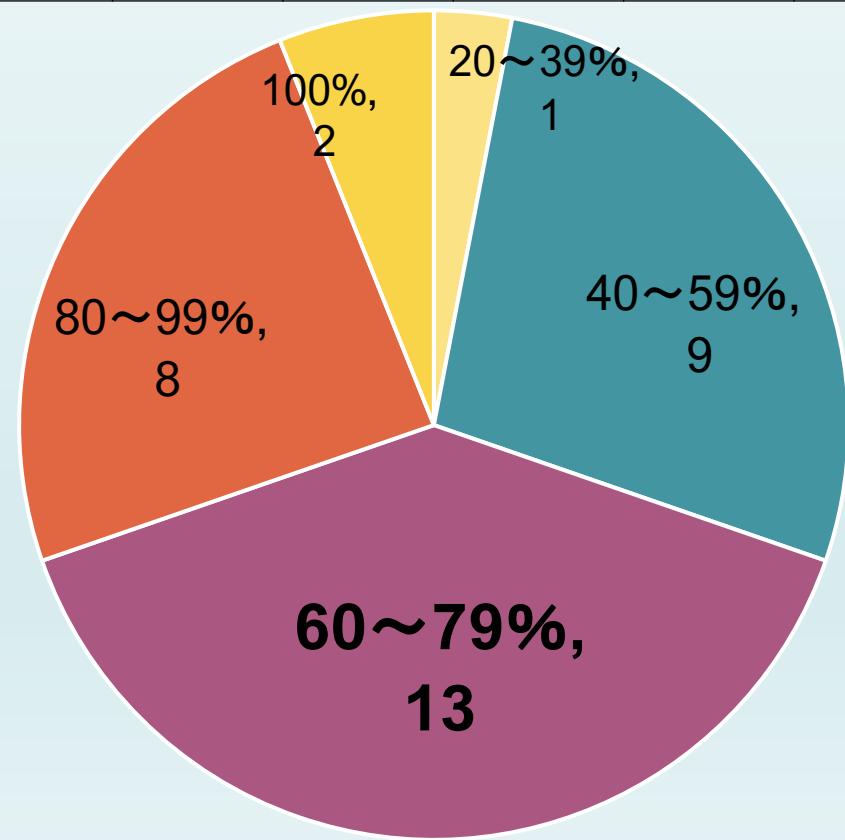
病院	検査センター	健診センター	病院+検査	病院+健診	検査+健診	病院+検査+健診
3	12	4	2	0	15	6



# アンケート調査結果

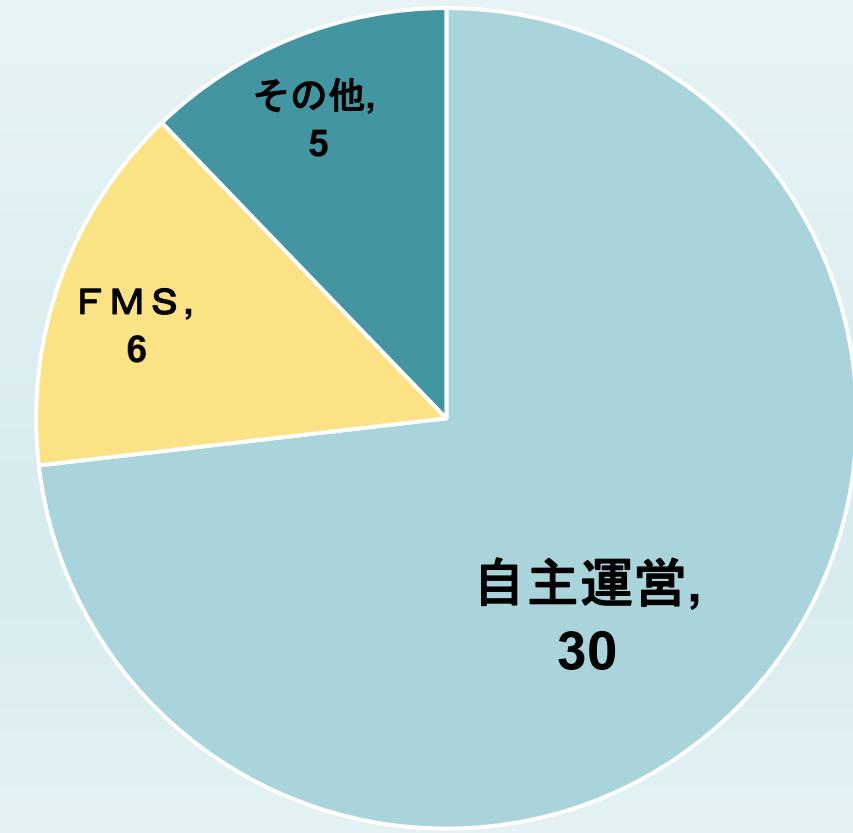
## <検査センター> ●利用医療機関率（参考）

0~19%	20~39%	40~59%	60~79%	80~99%	100%
0	1	9	13	8	2



## 検査運営方式

自主運営	F M S	その他
30	6	5



# アンケート調査（共同開発&購入について）

---

- ・ 料金体系は約85%が保険点数料率、15%が固定料金制を採用。
- ・ 検査連携導入済の施設は、電カルやオーダリングなど全てに対応済み。

## <共同開発について>

- ・ 電カル対応や集配管理、PHRの共同開発、検査材料の在庫・発注管理、健診結果送信、患者への結果送信などのシステム開発を希望。

## <その他の共同購入について>

- ・ 試薬、医療材料、機器、保守費等が挙げられたが、共同購入した場合の管理運用方法、ボリュームによる差の取り決め等が課題。

# 情報交換会の様子



# 二年間の会長としての考察

---

設立・経営母体が都市地区医師会であり、決して経営環境には恵まれていない中にあって、多職種の皆さんと、それぞれの立場から知恵を出し合い、大変前向きに取り組まれていることを実感した。

民間検査センターとの競合という課題の中、合理化や新規システム導入などの表面的なことにとらわれないで、医師会立であるという原点から、民間が引き受けたがらない不採算地域の集配などのサービス継続の事例も。民間の検査会社の中には、集配手数料を取るところが出る中で、このような姿勢は継続していただきたい。

共同利用施設検査センターに検体検査を依頼していた開業医が高齢化して、廃業も増える中で、新規開業のクリニックには、民間企業から強力な勧誘があり、利用医療機関の新規獲得には苦労。

物価や人件費の高騰などに加えて、ソフトウェア・アプリ開発などを請け負っている複数のベンダー企業がこの分野から撤退するような事態が全国的に起きている。

連絡協議会を核とした各種のシステム開発により、コストを低減し、持続可能性を高める努力が必要。ただし各施設の末端機種の対応困難事例なども予想され、その柔軟な対応が期待される。



ご聴ありがとうございました

---

次年度開催地

担当 中部地区

日時 令和8年7月17日（金）

～18日（土）

場所 富山県高岡市新横町1番地  
高岡ニューオータニホテル

高岡古城公園 高岡万葉まつり